

人的資本経営研究会 第2回ワークショップの開催

人的資本
経営・開示
の理解

開示
準備

開示
実施

会員企業の皆様に、**開示レポート作成の準備作業ができる状態**となってもらうことを目的として、主にレポート作成の流れ・準備作業の詳細内容、標準指標体系、標準開示ツールの使い方を説明した。

*人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につながる経営のあり方**のこと

概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行った。

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取り組みの一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。

第2回目ワークショップの内容

① 人的資本経営・開示の事例紹介

本取組の意義・メリットについてさらに理解を深めていただくため、人的資本経営・開示を継続して行っている県外中小企業の事例を紹介。

② 開示作業の流れと開示レポート作成準備期間の進め方

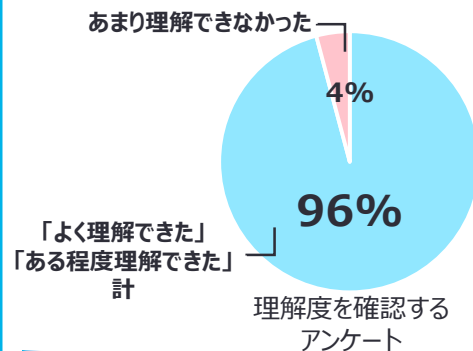
標準開示ツール**「人的資本開示ガイドライン」の内容を基に、開示作業全体の流れや、直近取組んでいただく準備作業について、令和6年度開示企業の事例を交えながら詳細手順を説明。

③ 広島県標準指標と標準開示ツールの活用方法

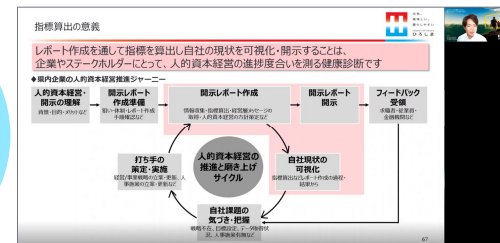
今後データ収集・算出を行っていく標準指標について、算出の目的や開示方針検討に向けた考え方、重要な指標の概要について説明。以降、ツールを活用すれば各自レポート作成を進められるよう、開示作業で活用できる各ツールの位置づけや活用方法の概要を説明。

取組の成果

- 参加者の大部分の方にワークショップ内容を理解いただいた。
- 作業内容だけでなく、各作業の目的・意義や考え方の軸、昨年度の活動結果を例示しながら説明したことが、理解に繋がったと思われる。



ワークショップの様子



69社 81名が参加
(オンライン)

今後の予定

- 第1クール最後のワークショップを8月29日に予定。
- レポート作成に取り掛かるにあたり、より良いレポート作成のポイントや、難易度が高いまたは重要な章の作成方法についてレクチャーを予定。
- 本取組の最終目的である人的資本経営の推進に向けた、作成後の振り返り方についても説明する。